

《臨時鹿防災号》

防災ハンドブック

HOKKAIDO-KOMAGATAKE

駒ヶ岳

'96.3月5日水蒸気爆発(54年ぶりの噴火)

もう一度見直そう駒ヶ岳!!

お宅の避難施設を書いておいてください

わが家の
避難施設

保存版 鹿部町(防災係)

秀峰駒ヶ岳に54年ぶりに噴火が発生しました。

噴火は3月5日午後6時10分から16分ごろと推定されております。

この噴火では、昭和4年火口の南部に2つの主な火口が開き、また、その南方方向に長さ約200メートルの新しい亀裂が開き火口列が形成されております。

◆北海道駒ヶ岳の火山活動に関する火山噴火予知連絡会幹事会の3月12日発表

「火山灰には、新鮮なマグマに起因する物質は見当たらず噴火の様式は水蒸気爆発と判断される。噴煙活動は噴火直後は活発であったが、3日目以降は弱まっている。また、噴火後の微動や地震の活動も極めて低調である。

このような小規模水蒸気爆発は単発的に発生することがあり、また、大噴火の前ぶれになることがある。大正年間には水蒸気爆発を繰り返した後、昭和4年の大噴火に至った例がある。今後とも、火山活動の監視を注意深く継続していく必要がある。」

いざという時に備えて、一人暮らしのお年寄りや介護が必要な方は、日頃から近所のだれかに事前に援助を求めておくことが必要です。

そのためには、町内会活動への参加、ホームヘルパーへの相談など日頃から心掛けてください。

備えあれば憂いなし

●自分の身は自分で守る

□地域ぐるみで万全な防災力を！

一人暮らしのお年寄りや、老人夫婦だけの世帯では、災害が発生した場合、家族の看護や援助を受けることが困難であると考えられます。また、寝たきり老人や痴呆性老人、重度の障害者を抱える家庭においても、いざというとき、的確な対応に限界がある場合も考えられます。日頃から近所の交流、地域の連帯が必要です。

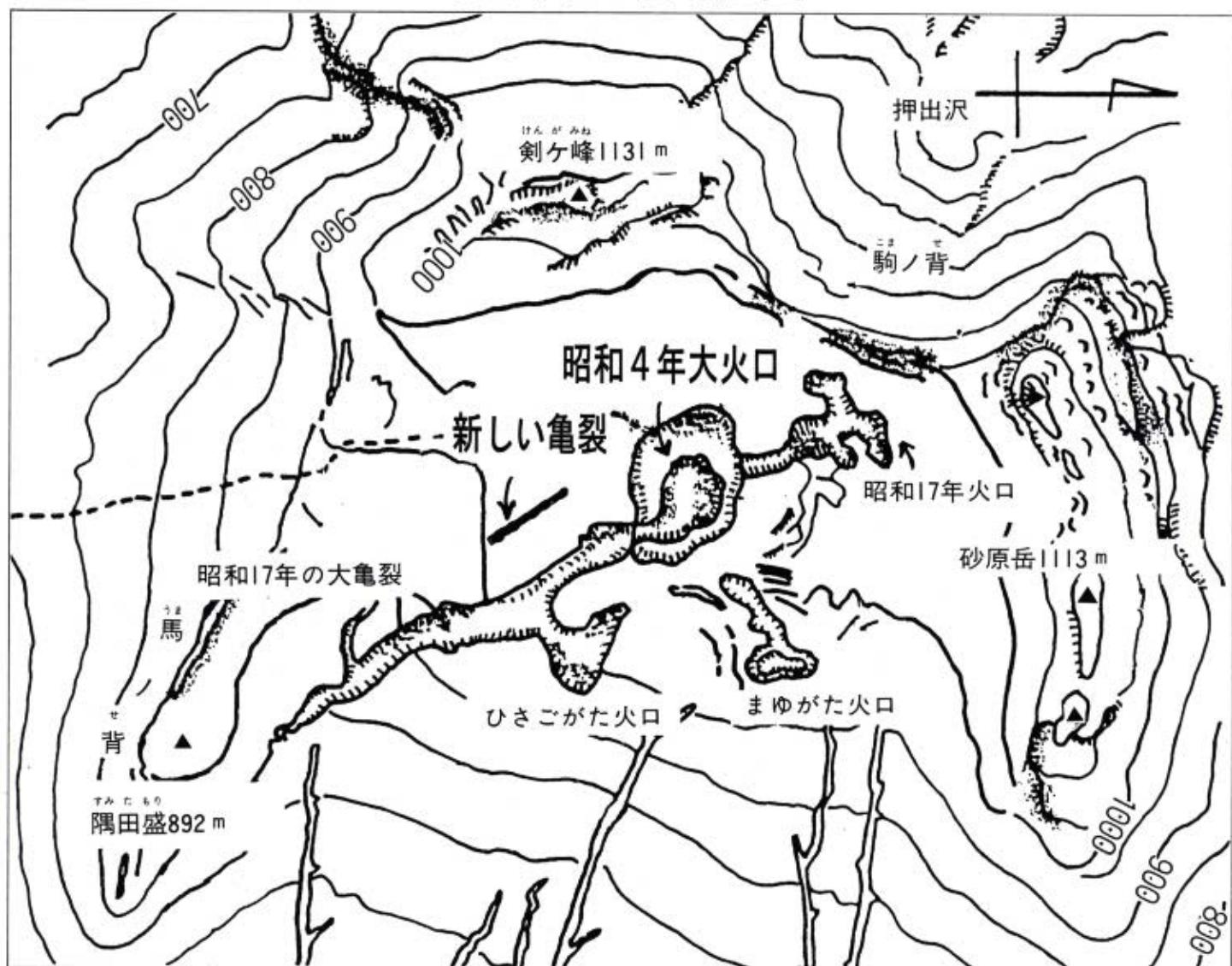


・近所や地域内に一人暮らしのお年寄りなどがいたら、いつでも協力する心構えを持つ。

とう こう げ こう 登校・下校のとき

噴火や地震はいつ起きるかわかりません。幼稚園や学校では、行き帰りの道で噴火やゆれを感じたら、カバンや上着などで頭を守りながら、近くの民家へ避難させていただくよう指導されておりますので、ご協力をお願い致します。

北海道駒ヶ岳火山活動箇所図 1996・3/5～ 駒ヶ岳山頂周辺図



町内会別の指定避難施設

町では、防災ハンドブックで一般避難所を皆様にお知らせしておりますが、駒ヶ岳火山噴火の場合は特殊災害となりますので、当分の間は次のとおり町内会別の避難施設を指定致しますので、ご協力をお願い致します。

この5カ所の指定に当たっては、噴火における地震・津波の発生も予想されること。更には町外へ避難する場合に住民が一定の地区に集まっていることで、避難者の把握はもちろんのこと自衛隊等の協力のもとに行われる移動についても容易となることを想定し海岸線に近い集会所や老朽化してきている施設を除いて指定しております。

- ①渡島リハビリ体育館…………大岩第1区町内会から鹿部第4町内会まで
- ②小学校……………鹿部第5区町内会から宮浜第15区A・B・C町内会まで
- ③公民館……………宮浜第16区町内会から宮浜第17区A・B町内会まで
- ④中学校……………宮浜第18区町内会から宮浜第19区A・B・C町内会まで
- ⑤総合体育館……………本別、出来澗、やすらぎの里、相泊、駒見の全域

避 難

1 避難順位

避難をさせる場合は、老人、幼児、傷病者、身障者及び婦人を優先的に避難させましょう。

2 避難方法

避難には、三つの方法がありますが、町災害対策本部長が、噴火の規模、避難開始の時期、交通状況等を考慮し、状況に応じて避難方法を指示します。

- ①徒歩などにより、住民が自力で、避難場所まで避難する方法。←『自力避難』
- ②残留地域住民、負傷した人たちを危険地帯から救出し、避難場所まで避難する方法。←『救出避難』
- ③避難場所または臨時集合場所に集合した人を、災害対策輸送車両で集団的により安全な避難場所へ避難させる方法。←『集団避難』

火山情報は、町防災行政無線をお聞きください。

・火山性地震や火山性微動に関する情報、更には、避難命令・避難勧告は、防災無線でお知らせしますので、うわさなどに、まどわされることのないようにしてください。

これが基本です

◎あまり欲ばると安全な避難に支障をきたすので荷物は最小限に。

◎男性の場合で最大15kg、女性で10kg程度がひとつの目安です。



●携帯ラジオ
(予備電池も忘れずに)

避難するときはこんな格好で!!



底の平らな
丈夫なくつ

防じん眼鏡・マスク・ヘルメット
(防災ズキン)

リュックサック
(非常持出袋)

長そでの上着
厚手の手袋

綿ズボン



●その他
(マッチやライターなどの発火用具、
ローソク、十徳ナイフ、ビニールシート、コップ、缶切り、大小のポリ袋など)



●衣類
セーター、
ジャンバー
類(夏でも
必要)、下
着1組、毛布など



●懐中電灯(予備電池も)

みんなの 避難について

避難する場合のみんなの心得

- 戸締りに十分注意する。
- 火の元に注意し、ガスの元栓を閉め、火災が発生しないようにする。
- 携帯品は、限られた必要なものだけとする。
- 服装は軽装で、頭巾、ヘルメットなどを着用し、防じん眼鏡・マスク・防寒用具などを携行する。
- 行動は誘導者の指示に従い、うわさによる絶ずみな行動はやめよう。



●貴重品類(印鑑、預金通帳、株券、現金など)

追加1 赤ちゃんがいる場合



●ほ乳瓶

●紙おむつ
●ミルク

追加2 お年寄りがいる場合



●看護用品

●常備薬

●おむつ

追加3 あれば便利なもの



●ロープ

(直径12mm以上で、
長さが10m以上のもの)

●マスク

●防じん眼鏡

●さらし

北海道

駒ヶ岳噴火写真

砂原←

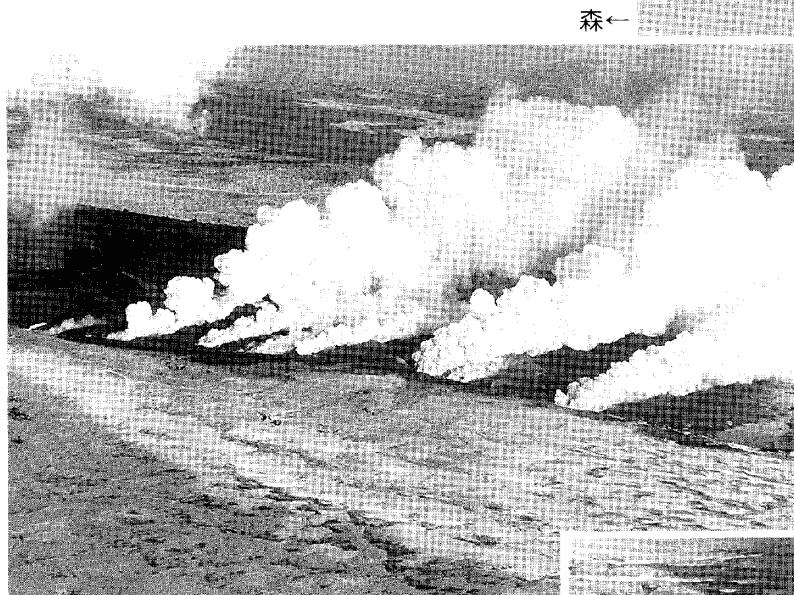


写真左上に鹿部飛行場と鹿部漁港がその上に見えています。

昭和4年火口は左、新たな亀裂が右に見えております。

↑鹿部

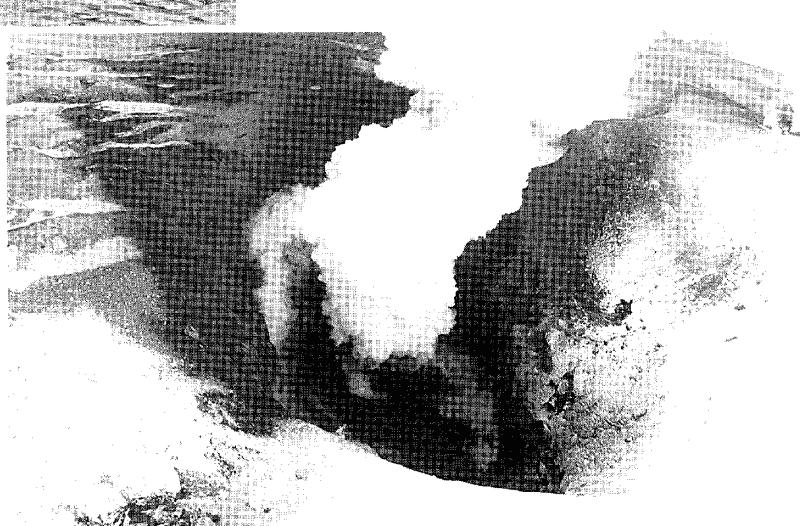
鹿部



→七飯



新しい割れ目火孔裂が、170m～180m南方向へわたって伸びています。



昭和4年火口の南方に延びる大亀裂のすり鉢状地形の火孔内に3～4箇所以上の噴気孔が見えております。

砂原↑

↓砂原岳



→鹿部



昭和17年の大亀裂の左側に新しい割れ目火孔裂が見えしております。

〈3月7日撮影 昭和4年大火口と新しい割れ目からの白煙〉

(火山情報の種類及び発表基準をお知らせします。)

火山現象に関する情報は、気象業務法の規程により発表される「定期火山情報」、
「臨時火山情報」及び「火山観測情報」と活動火山対策特別措置法の規程により通報
される「緊急火山情報」があります。

今回の駒ヶ岳火山活動では、次の②臨時火山情報と④火山観測情報が出されております。

①定期火山情報

年3回行うものとする。

②臨時火山情報

防災上注意喚起のため、次の各号の一に該当し、必要と認めるときに行うものとする。
かんき

- (1) 火山現象について、異常を認めた場合
- (2) 市町村から、火山に関する異常な現象の通報を受けた場合
- (3) 運輸省の機関その他の機関から火山に関する情報を入手した場合

(注：喚起…およびおこす)

③緊急火山情報

火山現象による災害から人の生命及び身体を保護するため、次の各号の一に該当し、
必要と認めるときに行うものとする。

- (1) 火山の噴火に伴う溶岩、噴石、火山れき、強酸性の湧水、有毒ガス等の噴出によ
り、直接人体に被害が生じ、又は生ずるおそれがある場合
- (2) 火山の噴火に伴う溶岩、噴石、降灰等により人が居住し、又は滞在する建物等に
損傷を加え、そのため人体に被害が生じ又は生ずるおそれがある場合
- (3) 火碎流、溶岩流、泥流を伴う火山噴火により人体に被害を生じ、又は生ずるおそ
れがある場合
- (4) 前各号のほか、火山性地震、地盤変動、その他火山現象の推移により人体に被害
を生じ、又は生ずるおそれがある場合

④火山観測情報

臨時火山情報又は緊急火山情報の補完等のため、必要と認めるとき行うものとする。

日頃の点検…戸別受信機は年1回の電池交換など日頃から大切に取り扱いましょう。

こま ガ たけ カ ざん さい がい よう ご じ てん

駒ヶ岳火山災害のミニ用語辞典

火山性微動…火山地域で、火山活動に起因するとみられる振動（火山性地震以外の）が観測されることがある。このような振動を火山性微動という。微動の成因やその発生メカニズムに関しては多様なモデルがある。その主なものに、
1、火山性地震が連続して発生するような場合
2、噴火時に火山灰などの噴出活動と連動して発生する場合
3、火山体内におけるマグマや火山ガスの運動や移動にともなう場合
4、マグマや火山ガスと地下水の相互作用による場合
などが考えられている。したがって、成因的には火山性微動は火山性地震よりさらに噴火活動に密接な関連がある。

火山性地震…火山体の内部または火山地域で発生する震源の浅い地震を、火山地域以外で発生する通常の地震と区別し、火山性地震という。
火山体…一般には単に火山という
火山活動…マグマが地表に現れる過程、または現れてからのさまざまな動き、それにともなう現象を総称して火山活動という。

- **火碎流** 火山から噴出された高温の火山灰・軽石・岩片・火山ガスなどが、斜面を急速に流下する現象。温度は数百℃に達する。駒ヶ岳では、軽石が多く含まれるため、軽石流と呼ぶことが多い。
- **火碎サージ** 火碎流より軽石・岩片が少なく、高速で高温の砂嵐のような現象。
- **泥流・土石流** 土砂・岩塊などが、水と混ざりあって、高速で谷を流れ下る現象。谷の出口では氾濫を起こす。一般には大雨の時に発生するが、火山噴火で火山灰が積もったときには、多少の雨でも発生する。これを火山泥流と呼ぶこともある。また、冠雪期には、噴火によって雪が一気に溶けて、泥流が発生することもある。これを融雪泥流と呼ぶ。
- **火山灰** 火口から放出される細粒の噴出物で、直径2mm以下のもの。
- **軽石** 火口から放出される多孔質の噴出物。
- **岩屑なだれ** 火山噴火や地震動によって、山体斜面が大規模に崩落する現象。駒ヶ岳では、寛永17年（1640年）の噴火によって発生し、崩落した土砂・岩塊は海にまで達し、津波が発生して、内浦湾沿岸で700人余りが溺死した。
- **噴煙** 火山ガス・火山灰・軽石などが火口から噴出し生ずる煙。噴火の際には、火口の上空に「噴煙柱」が形成される。
- **噴氣** 火口や山腹の割れ目から立ち上る火山ガスや水蒸気など。水蒸気が水滴となって白い煙のように見えることが多い。
- **マグマ** 地下に存在する岩石が融けたもの。高温。これが、地表に現れたものを溶岩と呼ぶ。
- **溶岩** マグマが地表に現れたもの。冷えて固まったものも溶岩と呼ぶ。溶岩の粘性（粘り気）が大きい場合には流れ出ないで溶岩ドームを形成する。逆に粘性が小さい場合には溶岩流が生ずる。
- **溶岩ドーム(溶岩円頂丘)** 粘性の大きい溶岩が噴火口上に盛り上がってドーム状の山体を形成したもの。駒ヶ岳では安政3年（1856年）の噴火で小型の溶岩ドームが形成されたが、その後の噴火で消失した。